

金城弘昌教育長メッセージ

今日は、違法薬物の恐ろしさを、真剣に受け止めていただきたいこと、そして、危険な薬物の広がりを食い止めなければならないとの強い思いで、皆さんに、メッセージを送ります。

みなさんもすでに新聞報道等で知っていることと思いますが、今年2月、高校生1名を含む3名の若者が、大麻所持及び覚醒剤所持により逮捕されました。

また、県内においては、平成30年は高校生2名を含む12名、令和元年は高校生13名を含む25名、昨年は高校生3名を含む26名が大麻所持等で逮捕されており、年々増加しています。

これまで、県教育委員会では、先生方へマニュアルを配布したり、研修会を行ったり、各学校では、外部講師による講話や、保健体育等の授業、ホームルーム活動などを通して、みなさんが薬物に手を出さないように取り組んできました。

しかし、そのような中で、今回また、高校生1名を含む3名の若者が大麻所持及び覚醒剤所持で逮捕されたことは、大変残念であり、若者の間で薬物がまん延している現状に、強い衝撃と危機感を感じているとともに、あらためて「極めて深刻な事態」とであると受け止めています。

さて、薬物乱用と聞いて、みなさんは、どんなイメージを持っていますか。

みなさんもお存じの通り、薬物は1回使用しただけでも「乱用」にあたります。

使う回数が増えれば増えるほど、例えば、自分の体に虫が這いつくばっているような感覚や幻覚、いつも誰かに呼ばれているような幻聴、自分が鳥のように飛べるといった妄想、そのような感覚が、いつの間にか、あなたの心をむしばみ、体を破壊していくこととなります。

薬物は、自分の意志でコントロールできないほど依存性が高く、薬物を入手しようとして犯罪行為を行うなど、普段の生活にも悪影響を及ぼすだけではなく、場合によっては、一度使用しただけで、死亡する恐れもあります。

薬物依存症の完治はきわめて難しいことから、みなさんには、「絶対に手を出してはいけない」ことをしっかりと認識してもらい、友だちや先輩等から誘われても、勇気を持って「断る」ことができるようになってほしいと強く願っています。

報道によりますと、今回は、SNS上で、「沖縄手押し」という隠語のサイトで誘導され、覚醒剤は「アイス」の隠語で取引されたと聞いています。

こういった違法薬物の入手のしやすさや、大麻については、「有害性はない」「少しくらいなら大丈夫」「タバコより害が少ない」等の誤った情報、

買う人に届けるだけで、小遣いが稼げるといった、アルバイト感覚のような罪の意識の低さ、「他人に迷惑をかけなければ、大丈夫」といった考え、「ちょっとだけなら」「友達がやっているから」などの遊び感覚、「かっこいい」などのファッション感覚による使用が、若者の間での増加の要因ではないかと考えられます。

しかし、薬物乱用は「犯罪」です。決してかっこいいものではないのです。

みなさんは、これからの仲間との楽しい学校生活をとおして、それぞれが正しい行動選択が取れる強い意志を作り上げながら、ややもすると悪い方向へ向かおうとする仲間への声かけやサポートなど、協力をお願いします。

結びになりますが、みなさんのまわりには、SNSやインターネット、聞こえの良い隠語など多くの誘惑がありますが、「薬物はダメ絶対！！」と、強く心に誓ってください。

我々、大人は、みなさんを危険な薬物から守るため一丸となって、薬物乱用防止に取り組んでいきます。

そして、みなさんの夢実現を、私たち大人は全力で応援し支えます。

みんなと一緒にあって、薬物がまん延していると思われる現状を改善していきましょう。